

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-1622市美術館

年度	平成29年度		
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名(準部・課・機関名)	新潟市美術館
組織の目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に寄与します。		

作成日	平成29年4月3日
修正日	
評価日	平成30年3月26日

No.	部長 マニフェスト	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標	H29結果			補足・参考指標
1		展覧会やイベントの充実、ショップ設置などで魅力を高め、利用者を増やし、来館者満足度の向上を目指します。	・企画展、コレクション展、各種講座等の開催 ・ミュージアムショップ・カフェとの連携 ・来館者アンケート(企画展・コレクション展)	・入館者数(人)	36,309	46,299	113,322	70,500	63,708	・入館者数はエントランスのカウンタ数 ・開館日数 H26 170日間(5か月休館) H27 196日間(3.5か月休館) H28 287日間 H29 261日間 (H28アソシエーション展等の要素も考慮) ・来館者アンケート平均点(5点満点)	春から夏にかけては順調に入館者数があったが、冬季の天候が厳しかったことから12月は2,690人、大雪の1月から2月は1,559人、2,193人と客足が伸びませんでした。	未達成
				・アンケート満足度(点)	4.0	4.2	4.25	4.25	4.36			
2	2	学校や地域等と連携し、子どもたちが美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	・アートリッ事業の実施、こどもスタンプカードの実施 ・各種美術講座、実技講座等の開催	・学校連携事業や普及事業の実施回数(回)	60	77	88	80	83	・経緯 H26 新潟美術館と役割分担 H27 事業統一(アートリッ=出前講座+作品鑑賞)	アートリッ(学校出前講座+美術館作品鑑賞)を8校で実施したほか、美術講座や実技講座に加え、春まつりやコンサート(クラシック、ジャズ)を実施しました。	達成
3		新規来館者を増やしリピーターを獲得するための仕組みづくりや、運営の工夫で、有料観覧者を増やし、収益の向上を目指します。	・西大畑旭町文化施設協議会との連携 ・カフェ、ショップの充実 ・SNSの活用	・企画展1日あたりの有料観覧者数(人)	96	109	230	120	126	・企画展本数(日数 有料者数) H26 3本(134日間 12,895人) H27 3本(143日間 15,550人) H28 5本(227日間 52,113人) H29 5本(241日間 29,000人目標)	企画展5本の有料観覧者は30,433人となり、1日あたりでは126人でした。	達成
4		職員に研修を行うとともに、館外研修に積極的に参加し、職員の資質向上を図ります。	・接遇研修、危機管理研修、コンプライアンス研修、 ・財務・文書管理・IT研修、 ・学芸職員の専門研修参加	・研修受講者数(延人)	56	49	85	50	50	・職員や看視員等対象の研修受講者数	職員及び看視員等の美術館スタッフを対象に実施した研修又は外部機関等の研修に派遣した職員数は、延50人でした(避難誘導訓練を加えると79人)。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>新潟市美術館の運営方針を実現するための取り組みをさらに進めます。 「運営方針」 政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館を目指します。 1. あるもの(館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境)を活かし、新たな知を掘り起こす「発見する美術館」 2. 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が「学べる美術館」 3. さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る「生きている美術館」 4. 市民同士、地域の文化施設相互が「つながる美術館」 5. 高い質を保ち、市民が誇れる「信頼の美術館」</p>	<p>本年度は、上半期の広重ビッド展(浮世絵)に18,455人、北大路魯山人展に10,836人と多くの市民の皆さんにご来館いただきましたが、石川直樹展(写真)や東京国立近代美術館工芸館名品展(工芸)はそれぞれ、4,383人、3,393人と厳しい状況となり、写真や工芸の展覧会の難しさを反映した結果となりました。さらに、冬季の天候不順、とりわけ1月から2月の大雪の影響もあり、野口久光シネマ・グラフィックス展(デザイン)は、3,601人と想定を大きく下回りました。 常設展であるコレクション展では、前年度を上回る27,054人の観覧者がありました。広重展、魯山人展を中心に企画展観覧者の約57%の方に観覧いただいたためであると思わます。 その他の取り組みでは、クラックストリートとジャズストリートの実行委員会の協力を得て館内でのコンサートを開催し、各3公演で延643人の方からお楽しみいただきました。 次年度においても小倉遊亀展、ピカソ版画展、東郷青児展といった集客性の高い企画展とともに、新潟ゆかりの作家である阿部展も展覧を開催し、併せて各種の講座や学校との連携事業(アートリッ)等を工夫しながら実施するなど市美術館の運営方針に沿った取り組みを進めていくことにより、市民の美術に関する知識と教養の向上に努めてまいります。</p>